



問 若者の定住化について

答 様々なライフシーンに合わせた取組みを実施していく

問 現在、推進している定住化推進事業の内容と成果について。

政策財務課長 町外から転入し、町内に住宅を取得した家庭に対し奨励金の交付を行っている。固定資産税の1/2で5万円を上限としている。期間は3年で、平成18年度から27年度までの10年間、交付実績は総額で約1024万円で64世帯。今年度をもって終了となる。今後は人口減少対策、定住化に向けた新たな施策を考えていく。

問 子育て支援の総合的な施策について。

政策財務課長 子育て支援とし

て、すこやか保育支援、一時預かり保育、延長保育、放課後児童クラブ、マル福などの医療費の助成、不妊治療費等の助成、出産一時金の交付、就学祝金などがある。結婚支援としてマリッジサポートへの支援、結婚支援員の設置。教育関係では就学援助制度、就学奨励金の助成など、若者の定住に結びつくような更なる事業の検討を進めたい。

問 将来のまちづくりについて若者の声を聞く場が必要と思うが、その考えはあるのか。

政策財務課長 将来、町を担う

若者の声を聞く場が必要と考えている。

問 住宅開発を進めるための需要ニーズ、需要予測、開発適地調査の進捗状況は。

政策財務課長 昨年度、国の地方創生交付金を活用して五霞町の将来住宅地需要に関する調査を行った。今年度は、その結果を踏まえ住宅地の開発や定住化などの今後の方向性や取組みについて、有識者などの意見も参考にしながら協議検討していく予定。

問 新4号国道の6車線化について

答 1日も早い実現を強く要望していく

問 6車線化と同時に県道町道の交差点は立体化されると聞いているが、いつ頃になるのか。

都市建設課長 宇都宮国道事務所にて6車線化の見直しについて伺ったところ、現時点では未定とのことで明確な回答は得られていない。

問 幸主地区の児童の通学路の改善策について。

教育次長 現在、新4号国道と町道5号線との平面交差の関係から安全を確保するために冬木橋まで迂回して登下校している。

教育長 6車線化やIC周辺道路の整備状況を見据えながら、通学手段、通学路等、また歩道橋

の設置要望等についても今後検討していきたい。



道の駅交差点